



神奈川大学 経済学部 ヨーロッパ・フェスティバル

# 「ベルリンの壁崩壊後 30年のドイツ」

事前申込  
不要

参加  
無料

ごあいさつ

神奈川大学 経済学部長 戸田 龍介

神奈川大学経済学部は、国際交流事業の一環として、2019年11月に「ヨーロッパ・フェスティバル」を開催することになりました。

本年2019年は、ベルリンの壁崩壊からちょうど30年目にあたります。11月14日に行われるシンポジウムも、「ベルリンの壁崩壊後30年のドイツ」を論題として掲げています。ベルリンの壁は、第二次世界大戦後に永らく続いた資本主義国と社会主義国との対立構造の象徴でした。だからこそ、そのベルリンの壁崩壊は、戦後の政治経済体制の対立構造を溶解させる、希望に満ちた新時代の幕開けと世界から歓迎されました。しかしながら、その後東西ドイツが統合された統一ドイツにおいて、政治経済が必ずしも順風満帆となったわけではないのは皆さんご存知の通りです。また統一ドイツにおいて露になった新たな対立構造や様々な問題点は、我が国日本においても無縁のものでは決してありません。

この度の「ヨーロッパ・フェスティバル」を通じ、ドイツと我が国の経済および政治を深く考える機会を得ることにより、ドイツと日本との相互理解が深まることを期待しております。

## 2019. 11/14 木

会場 / 神奈川大学横浜キャンパス  
1号館308講堂

当日は直接会場にお越しください。

プログラム

### シンポジウム「ベルリンの壁崩壊後30年のドイツ」

13:30~14:00 開会式

挨拶	学長	兼子 良夫
	経済学部長	戸田 龍介
	経済学部国際交流推進委員長	小山 和伸

14:00~16:30

司会兼報告

神奈川大学副学長・国際センター所長 的場 昭弘  
「ベルリンの壁崩壊後の30年のドイツ—経済と政治」

報告

カールスルーエ応用科学大学教授  
クラウス・クリスティアン・ヴトケ氏

「ドイツ企業と東ヨーロッパとの生産ネットワーク—生成、現状、未来」

報告

ノイ・ウルム応用科学大学教授 トーマス・ヴンダー氏

「1989年と2019年におけるわれわれの共通の未来：  
今後破壊的10年におけるビジネス変化」

※本シンポジウムは基本、英語で行われます。



東急東横線「白楽駅」または「東白楽」下車 徒歩13分  
〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

KU 神奈川大学

お問い合わせ/教務課

TEL: 045-481-5661(代) FAX: 045-481-2793

HP: <http://www.kanagawa-u.ac.jp/> Mail: [gakuinka-estuff@kanagawa-u.ac.jp](mailto:gakuinka-estuff@kanagawa-u.ac.jp)

主催/神奈川大学経済学部 共催/神奈川大学経済学会 後援/神奈川大学国際センター